ドラモンド案は我主張大部分容認
決議案成立の曙光漸く見ゆ
或は決議案受諾か

【東京十四日發國通】十九ヶ國委員會決議案に對する杉村次長、ドラモンド總長兩氏の折衝經過の詳報は十三日深更外務省に到着し決議案を變更せるドラモンド總長作成の試案も併せて送つて來たので外務省では十四日早朝から有田次官、谷亞細亞局長、白鳥情報部長參集右ドラモンド案の研究を開始したが、同案は帝國從來の主張を著しく容認してゐるもので第一第二決議案中から我國が到底受諾し得ぬ點を大部分削除乃至緩和しており、我國に最も不穩危險とされてゐた決議理由書を單に議長の宣言の形式とし總會の載決に附せざることとし、その內容も更に杉村氏からドラモンド氏に引き續き折衝し出來る丈聯盟側の讓歩を求め得る餘地ある見込なるを以て、今後ドラモンド案に對し二三の根本的重要點に關し折衝せば帝國政府に於ても決議案を受諾し得る可能性あるものとし、決議案成立の曙光を見出し得る形勢となつた

事務局案の全文

【東京十四日發國通】外務省の事務局案全文左の如し

△第一決議案

第一項　聯盟は規約第十五條の規定によれば第一任務は紛爭調停の努力にあるが、今日の事態は未だ紛爭に關する事實上解決案を含む勸告を勸告するの時機に適せず

第二項　一九三二年三月一日の決議により本件に關する聯盟の原則を聲明したる故

第三項　調査團報告第九章の原則は本件解決の有益な基礎をなすものなるに省み

第四項　右原則を極東に於ける事態の進展に適用すべきかを決定するの任務を有する故に

第五項　右紛爭調停の仕事の爲めに十九國委員より小委員會を任命し

第六項　兩國の懸案を決定的に解決するため所當事國を幇助する右小委員會に右の使命を達するに必要な一切の措置を取るの權限を認め非聯盟國代表者の參加招請の權能を附與し

第七項　該小委員會にその事業に關し十九ヶ國委員會に對し三月一日午前二時十九ヶ國委員會が總會に報告し得る機能へず情報を供給せんことを求む

第八項　十九ヶ國委員會は一九三二年七月の決議により示されて居る猶豫期間を兩當事國の同意を以て決定する權能を有す可し右猶豫期間は兩當事國の同意無き時は十九ヶ國特別委員會は十五條第三項にて總會より委託されたる事業に關する最終報告をなす際に聯盟機關に提議をなす可し

第九項　聯盟總會は依然權利し議長は必要と認むる時は之を招請す

△第二決議案

聯盟總會は聯盟調査委員に對し此際聯盟に與へられたる有益な援助を感謝す、報告書が平和維持のため國際聯盟の努力に對し有益な貢獻をなしたることここに宣言す

紛爭は直接交涉
委員會は傍觀者たれ
―帝國政府の見解―

【東京十四日發國通】日支紛爭解決に對しドラモンド案に對する帝國政府の執るべき態度に關しては外務首腦部で目下愼重協議中だがお試案は相當我國の主張に近接し來れる爲日支紛爭事件監視の爲留すべき新委員會の權限を出來るだけ制限する事に努力をなし併せて次の諸點を明確ならしめる事とし代表部より回訓を仰ぐ筈だがドラモンド案に對する外務省の見解は

一、新委員會討議の基礎をリツトン報告書第九章の諸項によるものとしてゐるはその任務曖昧である、右條項中第七項に滿洲自治を許す如きものあり明かに我國にとり受諾し得ざるものあるをもつて新委員會は第九章中には多少有益なるものありとする程度に改む可し

二、若し成文中に右明記出來ぬ場合には委員會の實際的の仕事に於て右の條項によらざる事を明確にして置く要あり

三、非聯盟國の招請は決議案の主旨にすら矛盾する即ち決議案では小委員會が規約第十五條第三項により行動すべきを規定してあるが、これに米露を加へる事は聯盟が日支直接交涉を單に幇助するさいふ程度を越えたるものであつて、前後矛盾して居る故にこれを撤回すべし

四、更に委員會はリツトン報告書の原則を極東の事態に適用する權限を有するさせるは其前章日支直接交涉を尊重するさせるものと矛盾する故この適用解釋等は日支兩國當事者に委す可きものなり

五、日支紛爭はあくまで日支直接交涉で行ひ、聯盟の小委員會は全く單なる傍觀者的性質のものとすべし

事務局案に對する
我修正要求點

【東京十四日發國通】事務局案への帝國政府の修正要求點は左の如し

一、第三項のリツトン報告書第九章は有益な原則を含むと認むと修正せよ、第九章の十原則中滿洲自治案は承認し得ず

一、第四項は日支紛爭の解決責任が日支直接交涉にあるのを聯盟にある如くに重視せられて居るが修正を要す

一、第五項の小委員會の任務を日支直接交涉に對する幇助と限定して居るが側面的斡旋に過ぎざることを明確にせよ

一、第六項の小委員會に非聯盟國參加は絶對反對である右小委員會は聯盟規約で成立するもので、非聯盟國の參加は不可である

日英間の見解相違甚し
米國招請問題

【東京十四日發國通】外務省發表情報に依ればドラモンド杉村兩氏の妥協案に依り設置さるべき小委員會の構成に付きドラモンド氏は日支兩國を參加せしめず英、佛、伊、獨白が個國とし之に非聯盟國として米の參加を豫定してゐる事判明した、而して米の參加を最も希望し主張して居るのは英國でその理由は英國は東洋に幾多の植民地を有しその極東政策上米國との提携は深く緊要とするにあり、之に對し我政府は米の參加は聯盟規約に責任を負はない非聯盟國關にその發言權利を與へ…み課せざらは聯盟法規論上異議ある外、その實際的影響に於て彼らに支那の實を以て寧み征すの不當精神を增長して問題の平和的解決を遷延困難にするのみで絶對不同意を表明し居り問題は今後日本對聯盟を離れて日英間の問題と化すべく成行は注目されてゐる

十九ヶ國委員會
十六日午後四時再會

【ジュネーブ十四日發國通】日支紛爭處理の十九國委員會は豫定の如く十六日午後四時から再會されることに決定し十四日其旨各委員に公式通達が發せられた

修正私案を
十九國委員會に提出

【ジュネーブ十四日發國通】イーマンス委員長は今朝十一時事務局にドラモンド氏を訪問し決議案に關する杉村氏との折衝經過を詳細に聽取し修正案に關し意見交換を行ひイーマンズ氏は大體に於てドラモンド氏の立場を承認して修正私案を支持するに傾いたものゝ如くイーマンス、ドラモンド兩氏の手下で十九國委員會に右修正私案を持出す方法其他今後の處置に關し審議を重ね正午過まで會談を續けた

松岡氏
イーマンス氏訪問

【ジュネーブ十四日發國通】松岡氏は十四日午後三時イーマンス委員長を宿舍に訪ひ會談一時間十五分に及んだ

中銀榮總裁
北滿視察

中銀の榮總裁は本十五日午前九時北滿各地視察に出發す尙昨報山成副總裁とあるは榮總裁の誤報

上海事件一週年近く
重光公使語る

【別府十四日發國通】二十八日は上海事件の一週紀念日だが當時の駐支公使重光葵氏は上海で爆彈に見舞われ歸朝後は別府市外で療養生活を續けて居る氏は最近は健康も殆んど恢復し近く上京する程の元氣だが紀念日を前に當時を追想して感慨深く左の如く語つた

上海事變勃發の當時私は重要な任務を帶びて上京して居りました急遽上海に歸任したのが一月三十一日であつたが當時我々は斯る事變の勃發をひどく恐れて居た併し事變が發生した以上何と云つても仕方が無いので成るべく早く事件の善後策を講ずる必要があるので大いに奔走した上海に於ける軍事行動も一段落を告げたとは云へ支那側に於て反省せざる限り圓滿なる解決は望まれず我國の覺悟も今後益々重きを加へるだらう

開魯を作戰根據地に
熱河北部軍蠢動

【錦達十四日發國通】吉黑兩省から擁護された湯玉麟、李海青、鄧文等の匪軍殘黨は熱河省北部に迫入し開魯を中心とする地域一帶に蟠居し成長雲、劉桂堂、劉振東、河清明等の偽勇軍と氣脈を通じ四洮打通兩線方面の擾亂を企圖すべき氣配を示してゐたが最近錦良の偽勇軍及び通入匪軍に對する操縱の魔手は從來より一層積極的となり加ふるに興良軍の熱河南部進出と相俟つて熱河北部方面の擾行動を開始することゝなりその行動は漸次積極的となりつゝある即ち之等北部反滿軍は開魯を根據として作戰を擬しつゝあり反滿軍總司令には成長雲が任命され總司令部を開魯に置き反滿軍の指揮に任じてゐる而して最近學良より成長雲宛湯占海に對し今回の北部擾亂に加擔するやう配慮されたい旨の密電が達した之と同時に成長雲は學良の命により開魯軍總司令の名を以て、四洮打通兩線の鐵道破壞を行ひ後方擾亂の任に當るべく左の命令を發した

一、劉桂堂の第六軍團は洮南を攻擊し四洮線の鐵道破壞を圖すべし

一、劉振東の第五軍團は興隆地より打通線の鐵道破壞を圖すべし

一、河清明の第七軍團は北方より通遼に前進し打通線を遮斷すべし

一、第九軍はフタレン東方の攻擊を開始すべし

一、鄧文軍は退路遮斷を目的として行動し各地除の連絡戰成功を期し通遼を攻擊すべし

一、崔興武の騎兵旅團は極力敵軍に抵抗し敵軍の前進を阻止すべし

要するに學良の作戰は先づ熱河北部方面より事を釀し之を以て南部方面の戰鬪に有利な發展を期せんとするにある事は明らかである

學良を北支
軍事分會
委員長に任命

【南京十四日發國通】張學良より北支全軍指揮の軍事責任者を中央より特派せよ、との要求に何應欽が北上を拒絕したので別に責任者無く結局派員を中止して學良に全責任を負はせる事となり昨十三日蔣介石より學良を北平軍事分會常務委員會委員長に任命する旨打電した

南京側から
送つた
貨車六十數輛
開封着

【天津十四日發國通】南京側から北方軍援助の爲發送された軍需品を滿載せる二十數輛連結の三個列車は昨日午後五時徐州を經て隴海線の開封に到着し今明日中に北平着の筈である

秦皇島方面住民
滿洲國編入を望む
支那軍の掠奪暴行に懲りる
天津某外人視察談

【天津十四日發國通】秦皇島方面を視察し歸津せる某外人の談に依れば同地一帶に集結せる支那軍は頗る多數に上り軍規の紊亂して居る事はお話にならず到る所で民家の掠奪を始め冬籠りに貯藏して居る糧食等を掠奪婦女子に暴行を加へ住民は實に惨めなものである。一般民衆は一日も早く日本軍が來て支那軍を追拂つて滿洲國に編入さして貰ひ度いと望んで居ると

偽勇軍を種に
抗日會金儲け

當地大馬路の某棉布問屋に上海の同業者から來た手紙の中に

偽勇軍軍服は全部當地で一元內外で作られ買辦の手によつて商人に拂下げ天津に送られ一應け抗日會に納めた後又も商人の手に戻り上海に逆送され新品として再度買辦商人に屆けられて天津に送られて居るが、中には上海天津間を四回往復したものがある斯くて一元の安服が四元乃至五元の高價で偽勇軍に支給されて居るから滿洲は新興景氣であるから此の種類の儲けも多い事と思ふ、是非取引を依賴する

と云ふ一節があつたと云ふあまりにも支那式なインチキ取引ではあるが朱慶瀾一味の抗日偽勇軍幹部連が一着の軍服を三度も四度も納めさして儲をしてゐる內情を物語る證據として面白い

奉天は
工業都市に

【奉天十四日發國通】工業地として奉天を目指して建設せんとする內地方面の企業家は續々新企業を計畫し既に工業地の借用或は土地買收方法に就いて目下調査の爲め來奉し成案を有する企業家も相當多數に上り奉天を中心として之等企業家に依つて計畫された商會社は八十二會社に及んでゐる、本年解氷期に於て直ちに創立される豫定の會社も紡績會社他四、五社あり今年中には相當多數の工場か創設される模樣で滿洲國唯一の工業都市である奉天が名實共に一大發展を見るのも間近くなつた

日本の卒業
生採用問題
萬事解決す

滿洲國官吏養成の爲各大學專門學校卒業生中より大同學院學生として二百名を採用する問題に關して一時手續上の行違ひから我文部省との間に紛糾を生じてゐたが今回各學校當局と最後的交涉を遂げ目下各學校より銓衡せる推薦者を調査に沒頭中の滿洲國當局では之に關し次の如く語つた

手續きの事から問題を生じたが我々としては最初の計畫を嚴格に斷行したわけである、滿洲國今日の狀勢は優秀分子嚴選主義斷行を迫つてゐるのでかつて總花的一時的な人氣取策を許す丈の餘裕を持つてゐない、かなりの赤字は當初より覺悟した譯である又技術的にいつても手不足の今日數千に上る學生の設備は事實上不可能である

就職難に不幸にもあへぎつゝある有爲の學生群に對する人事行政上の此の決然たる態度はやがて滿洲國人事行政刷新の端緒となるであらう

諸株一齊に
反動安

【東京十五日發國通】四日の初會より六日迄諸株概ね新高値だが七日より反動安商狀を呈し九日から急激な反動安となり十四日迄の連續暴落の結果、長期取引は東株舊新日本產業三十二、三圓その他も十圓乃至二十圓安短期市場では九日の新東二百二十九圓より十四日百九十四圓と三十五圓安、日產は百二十六圓九十錢より八十四圓五十錢迄と四十二圓と云ふ大暴落で大勢アク拔び

資源局長官後任
商務局長川久保氏決定

【東京十五日發國通】滿洲國顧問として近く赴任する宇佐美資源局長官の後任は商工省商務局長川久保修吉氏を擢する事に決定した

柴田翰長辭意

【東京十五日發國通】柴田內閣書記翰長は家庭上の問題で首相に對し辭意を漏したので首相は之を慰留しつゝあるが柴田氏は家庭上の事情が引いては政治上問題化される虞れがあるのと自身としても責任を感じて居るか首相は極力慰留する方針だから辭意を思ひ止まるかも知れない

開原稅捐
成績

【四平街支局發】開原稅捐徵收局に於ける十二月中諸稅捐徵收狀況は左の如くである

營業稅四、九七一、九九〇牌照稅八二一、五〇〇酒牌稅一三七、五〇〇牲畜稅二、四五〇、七六〇印子稅九一、〇〇〇雜貨稅一、三八一、六七〇糧食稅二、七四五、五三〇出產貨稅一、一四〇、九七〇豆稅四二、五二八、八八〇油量稅二〇九、四九〇糧捐二三九、五八〇牌稅一、〇五〇、八〇煙稅三二八一〇煙酒類貨稅七〇九、七四〇雜捐二、七五〇委辦稅五三四、八六〇（印花稅二、九九九、四七〇酒特稅四三、〇〇〇各稅罰金一七一、〇〇〇印花罰金四二〇〇〇煙稅罰金四八〇〇計二、一六九、六三〇

人事往來

▲榮厚氏（中央銀行總裁）十五日午前八時四十分ハルビンへ

▲保潤軒氏（民政部警務司）十五日午前九時奉天へ

▲北林大佐（關東軍司令部）同上

▲河本理事（滿鐵）十五日午前八時來京

▲十河理事（滿鐵）同上

天氣豫報

十五日の氣溫最高零下九度さい、最低同二二度八、十六日の天氣模樣は西の風晴

酉年名士（9）

尾上菊五郎氏

本名寺島幸三、六代目として聞えた天下の名優、日本俳優學校の校長で明治十八年生れの明けて四十九歲、生粹のチャキチャキの江戸ッ兒

年頭所感

滿洲國財政部總長　熙洽

建國第一年の滿洲國は關稅の接收に、對支輸入關稅の賦課徵收に國內徵稅機關の改革整備に、大同元年初年次豫算の編成に頗る多忙を極めた、建國第二年において財政部の及ぶべき任務は稅收の增加による財政の整備、金融の統制運用による產業の振興等建設的事業の促進誘導にある、然しながら建國日尙淺き滿洲國の歲入のみを以てしては到底新規事業をおこす餘裕を生み出すことは困難で日本其他列國の好意ある投資に待たねばならぬ今や滿洲國內の治安は殆んど恢復され漸次完璧の域に接近し投資上の不安に支障されんとしてある、余は日本當局が特にこゝに意を致され遊資の誘導に援助を賜はらんことをのぞむ

滿洲國民政部總長　臧式毅

大同二年年頭にあたり、いさゝか所懷を述べ大方の御指導を仰ぎたい、建國匆々の非常時時代にはこれに處するに治安第一主義をもつてし平和的建設時代に入るに及んでは產業の興發、民力の涵養に主力を傾注する、これ自然の大道である、殊に歸順匪徒を收攬しこれをして正業に就かしめ農村の荒廢を匡救するは國家の喫緊事にして完全にこれを及し得るにおいては滿洲國內政は第一歩において成功せりと云ひ得べく滿洲國の秩序はこれにより恢復し治安はこれにより確保され、產業の發達、富源の開發皆こゝに源を出發する、實に國運消長の樞機の存するところにして滿洲國政府として最善の努力を拂ふべき必要あるを痛感する、幸ひに日本國當局の援助協同を得、匪徒收撫にその方途を誤らず荒廢せる農村に生氣を與へ產業を興振し民力を涵養王道文化の光を三千萬民衆の生活の上に輝かし得れば余等のよろこびこれに過ぐるは無い

高松宮の農
漁村資金
第一回の御沙汰

【東京十四日發國通】高松宮殿下が農村漁村振興の思召を以て御手元金五十萬圓を基金とせられ有栖川宮記念厚生資金の名において全國各地の團體個人を表彰獎勵助成遊ばされる有難きお企に就いては兼ねて關屋宮內次官以下の顧問協贊囑託等の間に地方長官より推薦の九十四件より三十一件を決定、殿下の御決裁を經て十四日地方長官を通じて第一回の御沙汰を傳達した、猶本年度は五月頃植民地にも亘つて四五十件を決定する筈でこの思召は每年仰せ出される趣である

中銀ハル
ピン分行
設立せらるか

滿洲國中央銀行ではハルビンの奉吉黑邊の各字支行を統一して中銀のハルビン分行設立を計畫。財政部に申請中であつたが愈々一兩日中に正式許可をみつて分行事務を開始、傳家甸に支行を開設する事となつた、右は同行各地百十二分支行整備の魁をなすもので之れを機會に、全滿各地の各字分支行を一行又は、二行に

東拓愈よ積極的に
新京に進出す
渡邊駐在員を交代せしめ
實力ある社員派遣

東拓では積極的な滿洲進出を企圖し昨年五月より渡邊席特派員を新京に駐在せしめ業務の發展を圖りつゝあつたが渡邊氏は單に駐在の名のみで實績上らず本社でも三月解氷期と共に本格的國都建設事業開始と共に、實力ある社員と交代せしめ新京支店を開設、市內八島通りに事務所を新築する事に決定した、同社では更に將來新京に支社を設置する計畫を有し其の第一階段として新國都建設地に五千坪の支社建設用地並に社宅用地の貸下げを申請する外傍系の消業公司をして住宅地一萬坪東業公司をして商店街一萬坪の貸下げを行はしめ大々的に不動產投資事業を開始すべき方針を確定した向舊に計畫中の新京建築助成會社への融資については既に本社の承認を得たが拓務省關係に於て聊か難點あり、最後的決定は稍延期を見るべく結局年額白萬圓程度の融資を行ふ事となる模樣である

サテモ丈夫な新京人の胃袋
昨年平げた牛馬豚が全部で二千三百廿九頭とは

長春から新京への變化で總てのものが躍進の波に乘り素晴しいテンポで發展の過程を急いでゐるが新京人の胃の腑を充す牛肉、豚肉の需要も時代の波に乘り非常な激增を示してゐる。昨年十二月新京屠獸場から新京人の胃袋に收つた頭數は二千三百二十九頭で、內豚は一千七百五十五頭牛四百二十六頭、羊六十頭、馬五十五頭、で昨年の同月は僅に一千五百三十六頭で、八百頭からの增加となり、一日に直すと二十七頭の激增と云ふ躍進振りである、本年に入つてかくは支那正月を控へ豚の需要が殖へ、一日九十頭からのものが市場に出てゐる、右につき宇戸所長は語る

現在の新京は牛豚共に少く困つてゐる、之れは匪賊の爲徹底的に掠奪された爲で從つて値段も高く殊に豚は一昨年に比べると銀建で二倍以上になつてゐるから金價に直すと四倍に上つてゐるそれでも一般に裕福になつた爲飛ぶ樣に賣れてゐるが滿洲では豚の賣れる年は好景氣と決つてゐる

崎口氏は廿餘名の學生が葬儀

天理教布教の旁ら滿洲人に日本語英語の教授をして居た新京商埠地大緯路第三市場廿三號原籍東京市京橋區銀座二ノ一ノ四崎口善作(二五)方の浪戸が十四日午前十時頃になるも影がないので學生が不審に思ひ入つて見た所同人が吐血し死亡し居るを發見直ちに領事館警察に屆出で檢死を受けたが肺病の所へ昨夜多量の酒を飲みたるため心臟痲痺を起したるものと判明死体は一先づ新京天理教布教所に移されたが同人には當地に身寄りなく廿余名の學生が健氣にも若干の醵金をなして葬ひを出すと申出で居り此處にも國境を越へた美しい師弟の人情愛を見せ附近の住民を感動させてゐる

分水他山間に爆破裝置を施す
幸ひ未然に發見さる

十四日午前十一時頃滿鐵線分水、他山間を巡視中の保線員に依つて線路の下に爆破裝置を施してあるを發見、慘事を未然に防止したが、右爆發物は直徑一寸長さ三寸の爆藥入り圓筒十六ケを縛り合せ軌道の下に埋めそれに三本の導火線を結びつけて爆發せしめる裝置になつてゐたと

歸順匪賊總數
三萬五千余人に達す
目下歸順申出中の者三萬　滿洲國の治安恢復

滿洲國の匪賊は日滿聯合軍の共同作戰宣傳作業により最近熱河省內を殘して一掃されたが昨年秋頃より年末迄に

＝歸順＝した匪賊頭目は奉天省內にて部下五千を有したる王永成外九十名、賊の總數一萬五千吉林省部下四千、を有してゐる李東風外五名、の賊數八千黑龍江省部下七千を有する徐景德以下七、匪賊數一萬二千、三省合計三萬五千に達してゐる、此外歸順を申出てゐるもの奉天省、吉林省黑龍江省、を通じて三萬に及んでゐる、之の外あくまで反抗して殲滅せられたる數を加へれば實に驚くべき數に達してゐる、滿洲國の治安は恢復し

＝人民＝は塗炭の苦しみより免れ、今や王道政治を謳歌してゐる事がうなづけらる

藝妓の試驗は
特意なものに依る
來る三月から實施

新京料理店組合では既報の如く去る十二日千鳥で冬季總會を開き別項の如く會務會計の報告があり次で役員改選を行つた處組合長に八千代館主瀧竹三郎氏、副組合長は南海の吉本武五郎氏、當選その他の

＝役員＝もそれぞれ決定つゞいて藝妓、試驗問題が上程されて甲論乙駁されたが結局その主旨が三味の持ち方さへ知らぬ女でも願出に對しては藝妓稼業の鑑札が與へられる弊を矯め藝妓の向上を獎勵するための制限ではあるが、甲乙丙など級附するなどは野暮の骨頂さうしたことをしたら同じ屋根の下に住む女同志で嫉妬反噬收拾することの出來ぬ紛糾を釀成するから等級制は不採用、又試驗の程度も各人の得意とするものをやらせて見る、若しそれがよくなかつたら次の試驗まで稽古を勵むやうにと云ひ渡すと云ふぐらひの程度にしたい第一あまり難しいことを規定してもその試驗をするものがあるまい、組合の係員が會のおいり

＝試驗＝をする人それ自体がすべての藝事に通曉してゐる譯ではないからと頭を掻いた話で見がついたさうで實施は三月からとなつたと

頭彩の幸運者
奉天滿鐵の北氏　至極眞面目な社員

第三回水災義捐彩票は本日新京において開票の結果頭彩は一四二七二番であるが、この頭彩が奉天地方事務所社宅住北伊左衛門氏に當籤した、同氏は鹿兒島縣人で浪町三三に居住しすこぶる眞面目な青年で夫人は永らく病氣であつたがこの當籤で非常に惠まれた譯である、なほ代價所は春日町金十三洋行で同洋行も大百圓になる筈である（奉天）

〜戰の〜 山海關視察記（一）

〔新京十五日發國通〕山海關事件勃發後八日朝錦州にあつて通信連絡に從事した余は戰禍收つた山海關を視察すべく十一日午後三時半錦州發山海關に向ふ此の日夜西地方は寒氣急に至り烈風を加へて寒暖計は零下十八度を示す、滿鐵線と異なり奉山線車中はスチームを入れず足は凍るばかりである、錦山を過ぎて前衛に至れば山海關よりの列車待合せの爲約一時半停車すると云ふ前衛關は寂寞の設備なく驛頭には警備員、國境隊員等夫々ランプを手にして右往左往してゐるが當地には茂木騎兵〇隊が目下中にて暗闇の中にもものゝ緊張の氣漲る驛は鐵條網其他の防禦設備も物々しい

やがて山海關よりの列車到着我列車も徐々に進行午後八時着の豫定が約二時間遅れて午後十時漸く山海關に到着した當地の驛所は第二事變以後ずつと破壞された儘たゞか只町より約一里離れた守備隊に電燈がともるさうであるので民家は勿論鈴木〇團司令部停車場迄ランプの外に點燈設備はない、幸ひ昨夜は滿月が中空に掛り我々を導びくが如く地上を照して呉れる

城壁の見えるかと遙か彼方を見ればぼんやりと半分潰れ落ちた樣が見えるそれは日本軍の激戰を物語る南門である兒玉中尉も最初に此處で戰死したのだ

余は國境警察隊員に敎へられたとほりに既に先發せる我同僚の宿れる日本宿の洋館に向ふ東洋館迄約十五丁其間人の子一人居ない民家は點燈してゐるものもなく暗黑と沈默の死の如き町だ幸ひ道を間違へず東洋館に辿りついた同僚は不意の余の到着にしばし無言の握手だ同僚と共に火鉢を圍んで酒をくめば友の有難さがしみじみと身にしみる、頭上に懸るランプの火は何と此處では文化的設備ではないか二十年振りでランプの燈に照らされて案外明るいと思ふ此處は山海關に於けるたつた二つの日本宿の一つだ、宿の亭主は當地に二十年住んでゐると云ふ

昔の思出はと聽けば色々面白い事や怖しい事もありましたが今はもう何等の感じもありません尤もこんなに不自由になりましてと、つんぼの身をかこつばかりだ、此處には日本女中が五人、ちやんと靜ちやんとリラ子と其々呼ばれる二十才前後だがリラ子は其名を反對に讀めば丁度あてはまる如きゴリラの樣な體格だ。遠く故國を離れて娼婦をして居るとか、今は痴呆症にかゝつて皆から馬鹿々々と云はれてゐる、支那人相手の商賣が彼女を斯うさせたのだらう、つくづくと海外出稼ぎの大和撫子の悲哀を思ふ

直ちに鈴木〇團司令部を訪れ樣との余の挨拶に對し夜の交通は危險だとの同僚の提議を容れて明日に延ばして寢に就く

十二日早朝〇團司令部を訪れる。此處は元何柱國の司令部だつた處だ然し貴重品其他は全部昨秋來北平に運ばれて日本軍占據の時は時計一つ殘つてゐなかつたさうだ、以て支那軍が既に戰鬪を豫想して萬般の準備を爲してゐた事が判る刹をいやる暇もなく次の部屋に椅子にもかけず立ち乍ら山と積まれた書類に眼を通して居るのは鈴木〇團長だ

「おめで度う御座います」と聲をかければ

「有難う然し相當の犧牲者を出した事は面白くない兎に角敵の陣地は實に堅固だつたまあ、狀をよく見て呉れ給へ」と答へ

「御不自由でせう」と聽けば

「何、戰地だからね然し暖房設備がなくて最初は一晩眠れなかつたよ」と微笑する

鈴木〇團長の多幸を祈つて司令部を辭し、ろ馬に乘つて戰跡を視察する、此處では洋車も見當らず、ろ馬が唯一の交通機關だ、馬子に

「お前は戰爭の時逃げなかつたのか」と聽けば

「私は滿洲國人だ立派な日本軍が來るのに何で逃げるものですか惡い支那兵が逃げて我々は非常に喜んで居る」との答へに微笑させられる

天野〇團長等
昨日旅順から凱旋
感激の波にゆられて

〔旅順十四日發國通〕滿洲事變發生以來北滿各地に轉戰し勇名を轟かした多門師團の殿部隊として天野〇〇團長及第〇〇聯隊の凱旋の日は來た、此日零下十余度寒氣肌を刺すが滿洲には珍らしく風も無くからりとはれた凱旋日和だ。旅順全市は戶每に日章旗を掲げてこの我等の勇士を祝福する〇聯隊は午前十一時より營庭に集合鰐谷〇隊長より一場の訓辭あつた後正午營門出發、土屋町、乃木町を經て武勳を物語る軍旗を先頭にラッパの音も勇ましく、萬歲のどよめきは白玉山にこだまして旅順港もゆらぐばかり感激と興奮、渦卷と化した市中行進をなし、白玉山の納骨祠に參拜午後二時愈よ東港岸壁に橫付けられた夕映丸に乘船を終ると、この榮えある勇士を歡送せんと押しかけた安藤要塞司令官、林警務局長、影山市長代理、野田工大學長土屋高等法院長各學校各團体其他一萬余の市民との間に五彩のテープが投げ交されその兩端を握る凱旋將士と旅順市民との互の胸に高潮する愛國的感激、萬歲々々と打振る小[illegible]する、出發が卅分天野〇團長は矢田、池田兩副官其他を從へ岸壁につくと又一時にどつと歡呼ののろしが擧る、天野〇團長は影山市長代理と一場の別れの挨拶を交して見送りの安藤要塞司令官と堅き握手を交して乘船午後三時夕映丸は岸壁を離れ一段と高く響き且つ萬歲の聲に送られ一路故國に向け凱旋した

遼陽首山間
鐵道爆破さる
貨物車の機關車脫線

十五日午前零時五十分遼陽首山間水源地附近にて鐵道線路を爆破したるものあり之が爲貨物列車の機關車脫線したるも人畜には損害なく午前七時四十分復舊開通した轄山より軍隊及憲兵を急派し犯人搜索中である

王德林露領へ遁入
武裝解除さる

日軍を退却した王德林の其後の消息は不明であるが確實なる情報によると十日邪占滿外數名を伴ひ大型自動車に乘り露領に遁入直に武裝解除された事が判明した

傷病兵一部
鐵嶺病院に

東部線の匪賊討伐に活躍した第〇〇聯隊の傷病兵松本准尉官梅川軍曹以下二十一名は昨十四日午後三時半ハルビンより到着、內九名は滿鐵鐵嶺病院に收容され松、准士官、梅川軍曹以下十二名は衞戍病院に入院すべく四時半鐵嶺を出發した

故藤原一等兵遺骨歸る

〔四平街支局發〕客年十二月二十二日涨局鎭江に警備服務中名譽の戰死を遂げた四平街守備隊故藤原上等兵の遺骨は二十六日當守備隊に於て盛大なる告別式が擧行された後隊內に安置されて居たが十五日午後五時二十二分發の列車で多數官民の見送裡に戰友に守られ鄕里秋田縣に悲しき凱旋をした。

岫巖慶祝大會

岫巖にて十六日掃匪慶祝縣大會を大々的に開催する事既報の通りであるが我軍よりは武藤軍司令官代理として部二課〇喜多大佐が飛行機にて參列する外同方面の指揮官第〇團長も參列する由である

故相川氏葬儀

十五日午後一時半新京曙町大正寺で飛行〇〇〇隊軍屬茨城縣人故相川喜一郎氏の葬儀が執行された

年新なるに不快な離婚話
東京からの三角關係

新京署へ持込んで來た本年最初の離緣問題……市內東四條通雜貨商竹內松次郎（三三）內緣の妻松井末子（三五）及竹內の友人石田一夫（三〇）の三名は何れも假名＝は昨年九月東京から大連、奉天を經て

＝來京＝前記場所で雜貨商を經營中何時頃ともなく末子と一夫が友人關係を超越し想ひ想はれに深い仲になつてゐる事を去る十二月上旬頃末子の夫松次郎が感知し、以後は變態の爭鬪を續けてゐたが十二月の暮松次郎は堪へきれずとうとう末子に離緣、即刻立去る事を要求した、一夫は兼ねてから病身である末子がしばしば出て行く可愛想な姿を見、行く末を案じ其のあとを追つて二人は市內某旅館に止宿、一夫は病身の末子の看護に一身を捧げてゐた然し松次郎は段々と日がたつにつれ一時の激昂からさめて追出した自分の輕率を悔い、未練がましくも新京署保安係へ十四日泣きついて來た、然し末子は追ひ出された處へ再び歸る事は嫌であるとて、何をいつても頑として聞き入れないので松次郎も男らしく諦め

＝立派＝な解決法をとつて別れる事となつた、末子は東京で藝妓稼業を勤めてゐる內約三年前松次郎と內緣關係を結び松次郎が商賣に失敗し渡滿を思ひ立つたので、兼ねてから親友である一夫が旅費の斡旋をなし三人仲良く連れだつて來京したもので、現在の資本千五百圓は總て一夫が支出してゐる

穆稜地方平穩に歸す

反滿洲國態度を持してゐた中東部線穆稜地方はさきに日本軍の第一回入穆と同時に思想惡化せる滿洲人並に朝鮮人は北方に逃走し影をひそめ、現在同地に殘れるものは比較的思想穩健で動搖を見ず且つ宣撫員の携行せる宣傳ビラ等により滿洲國の王道政治を知り感情を緩げ殊に日滿兩國國旗を軒頭にかゝげるにいたつた

來る廿日は大寒入り
寒さも峠を越す

今年に入つて新京の最低氣溫は零下二十八度四と云ふ近年稀な記錄を作つて以來それ以下に降らず日每にゆるみつゝ氣溫が上りこゝらが今年の寒さの峠かと思はれるが來る二十日は大寒の入りである、それから半ヶ月二月の三日が節分四日が立春、立春の聲を聞いたら嚴寒期でも一日一日と陽光に惠まれることであらう

交代の將兵 髀肉の嘆
土匪、兵匪が平定し盡されて

吉長、吉敦沿線警備の〇〇部隊代表酒井淸兵衞氏は工藤幽長村山寅男氏を同伴坂本第六〇〇長を案內し滿鐵、吉長、吉敦、〇〇線の一部等を十二日から十四日に亘つて視察十四日夜は同地領事館に省長熙洽はじめ日滿官民を招待し十五日午後十時警列車で一行は歸京した、酒井代表の吉林から總務留守任役への報告によると、新たに配備に就いた熊本の兵は原駐地と異つた零下三十度近の酷寒に拘らず、士氣旺盛でたゞあまりに土匪兵匪が平定されつくし折角來たが、腕だめしが出來ぬと何れも髀肉の嘆を發してゐると

撫順の日語學校

全滿至る處に日語熱は旺盛を極めて居るが撫順に於ては同地協和會辦事處が日語の普及に努力し、最近警察官立第二小學校では日語講習所を設立し講習期間速修科三ヶ月專習科六ケ月とし現在講習生六十名で次第に增加しつゝあり

石炭商に注意
新京署から

新京署保安係では十三日行つた石炭斤數調査の結果十六日午後一時から市內各石炭商を本署樓上に呼び不完全な秤及容器に對する種々の注意をなすと

本日故國へ
國境警察隊員の遺骨

民政部警務司督察官孫仁軒屬官丸野貞淸兩氏は滿洲里國境警察員故大木俊治氏以下七勇士、鳳凰縣參事官故友田俊章、同警備指導員故白井成田同秘書西辰喜三氏の遺骨を携へて之を親しく遺族の手に渡し弔詞を述べる可く關係者多數の見送を受け十五日午前九時新京發「はと」で南下日本へ向つた

稻澤軍曹 曹長に昇進

〔天津十四日發國通〕山海關南門攻略戰に名譽の重傷を負ひ錦州野戰病院に收容された〇〇〇隊の稻澤軍曹（北海道空知支廳雨龍秩父別村）は昨日附で曹長に昇進した

明大氷上選手一行
滿洲遠征の途に

〔東京十五日發國通〕明大氷上選手一行は十四日午後八時二十五分東京驛發神戸より海路大連を經て滿洲遠征の途に向つた

富士屋旅館自動車部

新京中央通富士屋旅館は自動車部があつたが投宿客本位であり不足なため新車數台を購入し一般の需めに應じ何時でも差向けることにしたから電話二〇九七番へ御用命を願ひたいと

花街 開花の文丸

この寫眞は？この誰でありませうか……と懸賞で答へを募集してもいゝくらひに變つた寫眞です、この欄を扱つてゐるものもわからないで、初ちやん寫眞はどうしたいと電話をかけたら、おもおじさん送つてあげたぢやありませんかとの返事

×

蝶千代姐さんと二人でうつつてゐるのがあたしよと云ふので調べて見たがどうも似てゐない、話が前後になりましたが開花の文丸こと初ちやんの寫眞です、開花家も恐らく即座に文だと判斷し得るものは尠いでせう

×

ちかごろすつかり姐さんらしくなりましたが依然として茶目さんは茶目さんでありまして、窓から外を睨めて、ずいぶん寒さうねよく凍るでせう行つて見たいワとスケートにあこがれてゐます

×

昔、スケートやりたさに一張羅を案出し廊下にローソクの蠟を塗りスリッパを履いてツルツルとやつてよろこんでゐたが、その後でお客さんや姐さんたちが滑つては轉んで問題を起したのは今も開花に殘る話題の一つです

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	八四	ヒラメ	一二
氷鯛	一四五	キス	一五
チヌ鯛	四八 六〇 二六	すずき	二〇 四五 二〇
津子鯛	三五	小ブリ	一二五
アマ鯛	四五	タコ	一三
マグロ	四〇 八五	イヒダコ	一八
スヽキ	一六	甲イカ	四五
ザバ	一三	伊勢蝦	八〇
アヂ	二〇	車蝦	一二〇
黒カレ	一二	タニシ	一五
ナマコ	二五	アナゴ	一三
アワビ	六五	カキ	二九
カマボコ	一三八	チクワ	九
ホタテ貝	一〇	信田	一七
半ペン	三〇	新上	八〇

ラジオ欄

十六日（月）
奉天後六、〇〇 レコード
新京後五、二〇 金銀相場商業信託
新京後五、四〇 講演 大同學院の敎育方針 興安省調査科 田口義男
東京後六、〇〇 ニュース
東京中央放送局編輯
新京後六、二〇 時事解說
（朝鮮語）氣象報及滿洲語ニュース
新京後七、三〇 ニュース（英語）
新京七、四五 ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇 ニュース（朝鮮語）
新京後八、一五 ニュース 氣象情報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇 時報
東京後八、三一 ニュース
東京中央放送局編輯

十六七の兩夜長春座の映畫は松竹下加茂特作主婦の友連載林長二郎主演時代劇悲戀火焰塚松竹蒲田特作八雲惠美子岩田祐吉主演、現代劇麗人の微笑等で入場料大人八十錢軍人學生三十錢小人二十錢であると

凄艶紅涙刄（一七九）

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

――もう、雄馬も躊躇してはおれぬ、思ひ切つて、座を立ち、讓之助の肩に兩手を置いて最後の言葉。

「讓之助、ではお前は潔く死んでくれ、君の誠心は、きつと佐渡のかたき心も動かすぞ！　いや、そればかりではない。君の死は、必ず兩家の將來に、偉大な貢獻をするぞ！」

「うむ、忝ない、雄馬！俺は君のあたゝかい友情に惠まれて、一生を送つたことを、心から嬉しく思ふ。君も奮闘してくれ、そして冬崎さ樂しい生活を送つてくれ死んでも、祈つてゐるぞ！」さ、はやくゆけ！」

「有難う、ではさらばぢや」

雄馬は、心を勵まして、ひらり庭先に飛び降りた、瞬間、雨戸はぴたと締つた――中では、涙にむせぶ咳の音、そこを名殘に、雄馬は、たゞ涙と無言に庭を突つ切つて、裏門を越え、五條坂なる鍛冶屋をさして、靜まりかへつた街をひた走りに走つた

久々ぶりでかへる宿。――こつそり、庭木戸を押して、離れに入り行燈の灯をかきたて、取敢ず、一通りの品をまとめてゐると、その物音に氣付いてか、靜かにはひつてきたお志津

「まあ、遲いお歸りで。――おや、また、お出ましでムんすか」

「おお、志津さのか、實はな今迄、色々お世話になつたが今度仔細、あつて、暫らく旅に出ることをきめる、父御には、お目にかゝらず參るが、そなたから、よろしうたのむ、これは、些細ながら、いままでの禮か、受取つて頂きたい」

雄馬は、用意の金包をお志津に手渡して座を立つた。

「まあ旦那さん、では、もうすぐ――」

「あゝ、なにいづれ、また、厄介になるよ。」

「でも、お旅さ申しても、きうせ、御難儀な御道中――お身體をお大事に……」

「わがやうななたも文までな」

云ひすてゝ、去りゆく雄馬を枝折戸にもたれて、見送りながら、お志津は、何さなく別れがたいおもひに、しくしく泣きせんだ。

五月廿三日――御屋邸は、未明から、ごたごた取こんでゐた。

この日、佐渡をはじめ、一同は愈々京を引拂て、大阪にむかふ手筈になつてゐた。

けれど、讓之助は、別に、荷物を取まとめる必要もない、――ぢいつと、例の小机にもたれて、默想にふけつてゐる

――雄馬は、無事に、長瀬邸へ身をかくしたさみえ、あれ以來、何のたよりもない、今朝も朝ぬけに血を吐いた――！だが、あの苦しみも、あさ二日。――

そんなことを思ひ浮かべ、讓之助が淋しく頬笑むでゐる所へ、恐ろしく、襖を開いて、訪ねたれのは腰抜け儒者の板垣草隆。

「女厩氏、御氣分は、如何でござるな」

「や、相變らずで困つておりますよ」

「それア、いかん、さうしたお身體では、大阪までの旅も、さご御無理でござらう、なんなら、拙者のしり合の宅へでも、一時、お移りになつてゆく――」

「いやいや、草隆さの、御厚志、忝ないが、一端決意が固まり決定したからには、手前も京に居るのも本意でない、かへつて、御一同に御迷惑をかけぞんじますが、身體のつゞく限りお作致したい、氣が張つてれば、まさか中途で倒れることもないでせうからな、ハフハハ……」